

事務事業名		重度心身障がい者医療費助成事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 日常生活支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	5470	一般	3	1	2	重度心身障がい者医療費助成事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間		昭和48年度～年度	根拠法令 条例等	佐野市医療費助成に関する条例、佐野市医療費助成に関する条例施行規則				
	任意の事業・義務的事业業						義務的事业業				
	実施方法						直営				
	事業分類						現金・現物給付事業				
リーディングプロジェクト						該当なし					
市長マニフェスト						該当なし					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1・A2又はIQ35以下及び身体障害者手帳3級か4級でIQ50以下の重度心身障がい者の方に対して、保険給付の一部負担金等の額の助成。			事業概要と同様。							
			活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			助成申請件数	件	34,883	34,976	35,000	35,000	35,000	
			受給者数(医療費助成を受けた人数)	人	1,707	1,733	1,800	1,800	1,800	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
重度心身障がい者医療費助成対象者の方。			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			助成対象者数(受給資格者証の交付を受けた人数)	人	2,190	2,076	2,200	2,200	2,200	
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
医療費に係る経済的な負担軽減を図る。			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			受給者数/助成対象者数	%	78	83	82	82	82	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した日常生活が送れる。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			日常生活用具及び補装具費等受給者数	件	2,687	2,704	2,800	2,850	2,900	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円	79,935	81,447	82,568	82,568	82,568			
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	86,128	87,570	87,409	87,409	87,409			
	事業費計(A)	千円	166,063	169,017	169,977	169,977	169,977			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	37	消耗品費	20	消耗品費	132	消耗品費	132
			通信運搬費	14	通信運搬費	14	通信運搬費	82	通信運搬費	82
医療給付費			166,012	医療給付費	168,983	電算委託料	56	電算委託料	56	
						医療給付費	169,707	医療給付費	169,707	
人件費	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	3,024	3,024	3,024	3,024	3,024				
人件費計(B)	千円	11,766	11,918	11,918	11,918	11,918				
トータルコスト(A)+(B)	千円	177,829	180,935	181,895	181,895	181,895				

事務事業名	重度心身障がい者医療費助成事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	-----------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和48年4月、県は重度心身障がい者の方の経済的、精神的負担の軽減を図るため、医療費助成の補助事業を創設した。市も同時に医療費助成事業を開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成20年4月、県は65歳以上74歳以下の方に対して、後期高齢者医療制度の加入を助成対象の要件とする見直しを行うが、平成21年4月その要件をなくし、保険の種類に関わらず医療費総額の1割を上限に助成とした。平成21年度に医療助成担当から障がい福祉課に事務が移行。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	医療費助成制度について、宇都宮市の様な現物給付制度にすべきという意見を、市議会、市民から頂いている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
やり方改善(成果向上の見直し)	窓口に来た人にも、積極的に声掛けをして事業の周知。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	医療費の助成を行い経済的な負担を軽減することは、受診の機会を促進し、いつでも必要なときに安心して受診。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	重度心身障がい者の方の医療費の助成は、経済的な負担の軽減を図り、必要な時に安心して医療が受けられるようにする市の取り組みに沿う。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	医療費助成は負担軽減が図られ、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	手帳の交付申請と同時に助成対象者の把握や手続き等を行うなど、助成対象者に対しワンストップ化と医療費助成事業の周知が図られるようになっている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	県の補助事業であり、事業費の大半が扶助費のため削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	対象者は、重度の障がい等を持っている方であり、必要な時に安心して医療を受けることができるよう、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
事業の廃止等による医療費の負担は、重度心身障がい者の方が必要な受診を控えてしまう等の影響が想定される。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			